

## アゲハ (ナミアゲハ)



アゲハチョウ科



- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：4～10月

黄色いはねに黒の筋もようがあるアゲハチョウです。幼虫はナツミカンやサンショウなどのミカン科の植物の葉を食べ、成虫は花のみつを吸います。

◆ 広げたはねの幅：6.5～9cm

## アオスジアゲハ



アゲハチョウ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：4～10月

はねの青いもようがよく目立つアゲハチョウです。高い木の上などを素早く飛んでいるのを見かけます。公園などの花に、みつを吸いにやってきます。

◆ 広げたはねの幅：5.5～6.5cm

## クロアゲハ



アゲハチョウ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：4～10月

全身が黒い色をしたアゲハチョウです。林の中の、やや日かげの場所をゆったりと飛びます。幼虫はアゲハと同じく、ミカン科の植物の葉を食べます。

◆ 広げたはねの幅：9～11cm

## モンシロチョウ



シロチョウ科



- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：3～11月

白いはねに黒い紋(もよう)があるのでモンシロチョウ。明るい草はらで花から花へとひらひら飛びます。幼虫はキャベツなどアブラナ科の植物の葉を食べます。

◆ 広げたはねの幅：3.5～4.5cm

## キタキチョウ (キチョウ)



シロチョウ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：1年中

鮮やかな黄色いはねをしたチョウ。年に2回発生し、秋に成虫になったものはそのまま冬を越します。あたたかな日には、日だまりを飛んでいることもあります。

◆ 広げたはねの幅：3.5～4.5cm

## ツマグロヒョウモン



タテハチョウ科



- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：4～11月

ヒョウ柄(がら)のような、オレンジ色に黒い斑点のはねをもったチョウです。コスモスなどのみつを吸いによくやってきます。メスは、はねの先が黒いのが特ちょうです。

◆ 広げたはねの幅：6.5～9cm

## ヤマトシジミ



シジミチョウ科



●見つけやすさ：★★★

●見られる時期：3～11月

小さなチョウで、街なかなど身近なところでも見られます。花にとまったとき、はねをすりあわせるなど、かわいらしい行動をとります。

◆広げたはねの幅：2～3cm

## イチモンジセセリ



セセリチョウ科



●見つけやすさ：★★

●見られる時期：5～10月

地味な色合いです。大きな目がチャームポイントです。せわしく花の間を飛びながらみつを吸います。幼虫はイネ科植物の葉を食べます。

◆広げたはねの幅：3.4～4cm

## キムネクマバチ (クマバチ)



ミツバチ科



●見つけやすさ：★★

●見られる時期：4～10月

体つきも、飛ぶときの音も大きいので怖がられますが、おとなしいハチで、いたずらをしなければ刺されません。フジの花などさまざまな花を訪れます。

◆頭から腹部の先まで：2.3cm

コラム③

## 生きもの写真と撮ってみよう！

生きものに出会ったらすてきな写真を撮って、思い出に残してみよう！  
生きものの写真をスマートフォンで撮影できる方法をご紹介します。

初級

お花や止まっている昆虫などを撮りたい！

スマートフォン内蔵のカメラアプリを起動して、「ポートレート機能」を使うと上手に撮ることができます。「接写機能」がついたカメラアプリを使用するのもおすすめです。生きものとスマートフォンの間を10～20cm離すとピントを合わせやすいです。

上級

遠くの生きものを撮りたい！

鳥や遠くとまっている昆虫などをスマートフォンに内蔵されているカメラアプリだけで撮影することは難しいです。遠くの生きものを撮影するときには、スマートフォンにクリップで装着できる望遠レンズを付けてみましょう。



## 生きものに出会うコツ

春

あたたかい日差しのある日に、草むらを観察してみましょう。



小さな花やテントウムシに出会えるかもしれません。

夏

雨上がりの日の涼しい早朝や夕方に、水辺のある公園へ出かけてみましょう。



トンボやカエルに出会えるかもしれません。

秋

花の咲いた花壇や植え込みを観察してみましょう。



カマキリや獲物を待ち伏せているかもしれません。

冬

日の出から数時間の間によく活動しています。



落ち葉が落ちて、鳥を観察しやすいです。

スマートフォンで撮影した例



マルバウツギ



ショウジョウトンボ

## な か ま ギンヤンマの仲間



ギンヤンマ



クロスジギンヤンマ

### ヤンマ科



- 見つけやすさ：★
  - 見られる時期：5～9月
- どちらも鮮やかな黄緑色と水色が目立つ、大型のトンボです。ギンヤンマは明るい水辺、クロスジギンヤンマは少し暗い水辺を好みます。

◆ 頭から腹部の先まで：6.5～8cm

## アキアカネ



### トンボ科



- 見つけやすさ：★★
  - 見られる時期：6～11月
- 赤とんぼのなかまです。初夏に羽化した成虫は、山へ移動して夏の間を過ごし、秋になると田んぼなどにもどって産卵します。オスの腹部だけが赤くなります。

◆ 頭から腹部の先まで：3.5～4cm

## シオカラトンボ



オス

メス

### トンボ科



- 見つけやすさ：★★
  - 見られる時期：4～10月
- ちょっとした水辺でもやってくるトンボです。オスは胸や腹が白い粉におおわれます。メスは黄色で、「ムギワラトンボ」と呼ばれます。

◆ 頭から腹部の先まで：4.5～6cm

## オオシオカラトンボ



オス

メス

### トンボ科

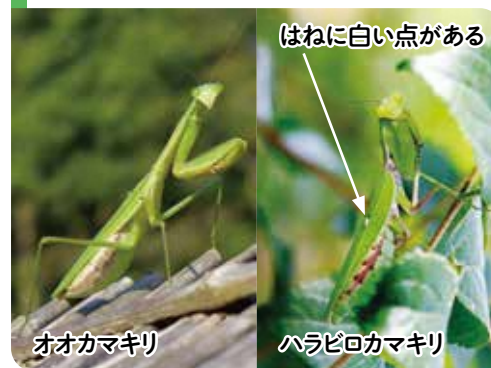


- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：4～10月

シオカラトンボより少し大きいのが名前の由来です。オスは濃い水色、メスは腹部に黄色い部分があります。木におおわれた、少し暗い池などでみられます。

◆ 頭から腹部の先まで：5～6cm

## な か ま カマキリの仲間



オオカマキリ

ハラビロカマキリ

はねに白い点がある

### カマキリ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：7～11月

オオカマキリはおもに草はらで、ハラビロカマキリは木の上で暮らしています。どちらも肉食で、チョウやハチなどを待ちぶせしてとらえます。

◆ 頭から腹部の先まで：4.5～9cm

## な か ま バッタの仲間



オンブバッタ

ショウリウバッタ

### オンブバッタ科



### バッタ科

- 見つけやすさ：★★★
- 見られる時期：6～11月

オンブバッタは体の形がひし形で、ショウリウバッタは細長いです。オンブバッタはキク科の葉などを、ショウリウバッタはイネ科の葉を食べます。

◆ 頭からはねの先まで：2～8cm

## アブラゼミ



セミ科



●見つけやすさ：★★★★

●見られる時期：7～9月

茶色いはねをしたセミで、街なかの公園でも見られます。鳴き声は「ジリジリジリ…」と、油を熱したときの音に似ているといわれています。

◆頭からはねの先まで：5～6cm

## ミンミンゼミ



セミ科



●見つけやすさ：★★★★

●見られる時期：7～9月

「ミンミン」とよく知られた声で鳴きます。体に、きれいな緑色のもようがあります。はねはすき通っていて、ところどころ小さな黒い点があります。

◆頭からはねの先まで：5～6cm

## クマゼミ



セミ科



●見つけやすさ：★

●見られる時期：7～8月

アブラゼミなどにくらべると大きいセミです。体は黒く、はねは透明です。「シャアシャア…」という声で鳴きますが、ほとんどが午前中だけです。

◆頭からはねの先まで：6～7cm

## ヒグラシ



セミ科



●見つけやすさ：★

●見られる時期：6～9月

早朝や夕方に「カナカナカナ…」と鳴きます。アブラゼミなどより小さなセミです。薄暗い林に多いですが、都市の公園でもたまに声を聞くことがあります。

◆頭からはねの先まで 4～5cm

## アオドウガネ



コガネムシ科



●見つけやすさ：★★

●見られる時期：3～11月

金属のように光る緑色をした中型のコガネムシの仲間です。公園や庭にあるさまざまな植物の葉を食べます。夜、明かりに飛んでくることがあります。

◆頭から腹部の先まで：2～2.5cm

## ナナホシテントウ



テントウムシ科



●見つけやすさ：★★

●見られる時期：3～11月

赤いはねに七つの黒い点もようがあります。幼虫も成虫も、農作物や園芸植物を弱らせてしまうアブラムシを食べるので人間に役立つという意味で「益虫」と呼ばれます。

◆頭から腹部の先まで：0.5～0.8cm

## スズメ



### スズメ科



- 見つけやすさ：★★★
- 見られる時期：1年中

人間のそばでくらして、山おくでは見られません。古い家のすき間などに、かれ草などで巣を作ります。新しくすき間がない家では、巣がつかれないようです。

◆ くちばしから尾まで：14.5cm

## ウグイス



### ウグイス科



- 見つけやすさ：★
- 見られる時期：11～4月

うす茶色の地味な鳥です。ウメの花によくやってくるのは、本当はメジロで、昔の人がまちがえたようです。「ホーホケキョ」というさえずりは有名です。

◆ 大きさ：スズメくらい

## メジロ



### メジロ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：1年中

目の周りが白いのが名前の由来です。頭から背なか、尾が黄緑色で、よくウグイスとまちがえられます。甘いものが好きで、ウメやサクラの花のみつなどを吸いに来ます。

◆ 大きさ：スズメより小さい

## ジョウビタキ



### ヒタキ科



- 見つけやすさ：★
- 見られる時期：11～3月

オスにもメスにも翼に白い紋があるので「もんつき鳥」とも呼ばれます。オスはおなかのオレンジ色が目立ちます。家のアンテナのような高いところによくとまります。

◆ 大きさ：スズメくらい

## コゲラ



### キツツキ科



- 見つけやすさ：★
- 見られる時期：1年中

スズメくらいの小さなキツツキで、背なかのしましまが持ちょうです。オスには目の上に小さく赤い羽が生えています。「ギー、ギー」とかわった声で鳴きます。

◆ 大きさ：スズメくらい

## シジュウカラ



### シジュウカラ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：1年中

白いほほやネクタイのようなむねの黒い線が持ちょうです。「ツツピー、ツツピー」とさえずります。木の穴のようなすき間に巣を作りますが、巣ばこもよくつかいます。

◆ 大きさ：スズメくらい

## ツバメ



## ツバメ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：4～9月

家や駅などに泥をはこんで巣を作ります。人のそばにいと、カラスがやってこないことを知っているようです。子育てが終わると、東南アジアに帰っていきます。

◆ 大きさ：スズメくらい

## ハクセキレイ



## セキレイ科



- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：1年中

体の色は白黒で、尾が長く、とてもスマートな鳥です。歩きながら、よく尾をふっています。芝生や川、グラウンド、駐車場のようない場所にやってきます。

◆ 大きさ：スズメより少し大きい

## ツグミ



## ヒタキ科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：11～4月

シベリアから冬をすごすためにやってきて、春になると帰っていきます。背なかの赤茶色が特徴です。木の実を食べたり、地面で虫をさがします。

◆ 大きさ：スズメとハトの間くらい

## ムクドリ



## ムクドリ科



- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：1年中

体全体が黒っぽく、オレンジ色のくちばしと足が特徴です。群れになることが多く、時にはニュースになります。「キュルキュル」などとさわがしく鳴きます。

◆ 大きさ：スズメとハトの間くらい

## ヒヨドリ



## ヒヨドリ科



- 見つけやすさ：★★★★
- 見られる時期：1年中

全身は灰色で、ほほのあたりが赤茶色です。「ヒーヨ、ヒーヨ」と大きな声で鳴きます。甘いものが好きで、ツバキやサクラなどの花のみつを吸います。

◆ 大きさ：スズメとハトの間くらい

## ハトの仲間



## ハト科



- 見つけやすさ：★★
- 見られる時期：1年中

キジバトは昔から日本にすんでいます。カワラバトは人間が外国から運んできました。キジバトは庭や公園、林などで、カワラバトは街なかでよく見られます。

◆ くちばしから尾まで：33cm